

活動名：エストレージャス招待フットサル大会 U-12

日程：平成28年1月17日（日）

会場：郡山市総合体育館

参加：T6クラス（6年男子）15名

帯同：喜多方メンバー 設楽コーチ

小野メンバー 熊坂コーチ

対戦相手：

<喜多方メンバー8名>

VS エストレージャス ○

VS 大玉 ○

VS 行仁 ○

VS 白沢 ○

Aブロック1位通過/3ブロック

準決勝

VS 浅川 4：2 ○

決勝

VS ASバンディエラ（茨城県）3：1 ○

<小野メンバー7名>

VS エストレージャス ○

VS 岩瀬 △

VS 日新 ●

VS 大玉 ●

結果：喜多方メンバー：優勝（18チーム参加）

小野メンバー：Cブロック5位

報告：設楽コーチ

6年生たちはこれから開催される「喜多方・小野・あづま」大会が最後となります。

この大会には6年生男女の人数が多いことから昨年同様に3チームに分けて挑みました。特に「男子」を中心に公式戦へ向けたトレーニングを今年は実施でき、恵まれた学年となっております。

先日の「リガーズさんとの練習試合」、そして今回のエストさん招待大会とお声をかけていただき2チームで参加しました。

この2チーム分けは、喜多方大会と小野大会に分けたメンバーの2チームにしましたが、リフティングの上位順で分け、各チームが今回の大会でどれだけの試合をしてもらえるかが楽しみでした。

18チーム参加しましたが、なかなかの強豪チームも集まり、アーレにとっても刺激になるとても良い経験ができました。

今までもそうですが、このような招待大会では、私たちのようなスクール形式のクラブとして大会が少ないため、貴重な経験の場ですが、主催団体が「またアーレを呼びたい」といった気持ちになっていただくことが大事だと思っております。

そのようなことから、子どもたちには会場のルールを守ることや、挨拶、態度などを他のチーム以上に厳しく伝えてきました。

特に、試合の結果の拘ることも必要で、選手達のプレーの質や試合結果なども、アーレを初めてみる方々の気持ちを動かすことを意識して、練習で積み重ねてきた技術を試合でしっかりと発揮できるようにコーチ陣も毎回意識をしております。

従って、試合経験の少ない子どもたちですが、歴代にわたり指導者の思いに応えてくれる試合をしてきました。

このようなことから今回同様に大会に挑み、2チームともに頑張ってくれたと思います。また、アーレを知らない他のチームからも「良いチームですね」とお褒めの言葉をいただきました。嬉しいですね。

さて、さらに子どもたちには上を目指して欲しい気持ちが常にあるので、毎回の報告の感想は厳しい評価をさせていただき、以下のとおりです。

#### <喜多方メンバーについて>

- 結果として「優勝」できたことは素晴らしい子どもたちの頑張りをみることができました。
- どうしても、毎回試合の入り方が悪く、戦術的な指導よりも「気持ち」の話が多くなってしまいます。試合が始まってからの5分間で勝負を決めることができるような、「厳しく激しいプレー」で挑むことが毎回の課題となります。これは、子供たち個々の気持ちの問題で、一日中サッカーができる「楽しさ」が優先してしまい「緊張感」を持たず、本来の実力がなかなか発揮できないのが残念です。
- 選手たち自身の気持ちが芽生えだし、「オフENS」、「ディフェンス」のポジションがそれぞれに決まってくるようです。コーチが他のポジションを与えると自信がないのか「戸惑い」がプレーに現れます。日々の練習ではポジションなどは無くメニューを組んでいますが、どうしてもこのようにポジションが決まってしまう、中学に向けては、どこでもできるようにチャレンジしてほしいと思いました。
- 相手の自陣に攻め込む場面が多いにもかかわらず、得点をしっかりと決めることができず、シュート数は遥かに上回っているのにゲームの主導権をなかなか握れない苦しい場面が見られました。しかし、ゴールした「シュート」の質は全て見事な形で素晴らしかったです。この感覚が得点を奪う上で非常に大事になります。シュートを外していると感覚はつかめず、得点力のない選手になってしまいます。

- 点数が負けている状態から逆転勝利できる試合が見られ、最後の喜多方大会での「初優勝？」が期待できるメンバーだと思いました。

#### <小野メンバー>

- おとなしい気持ちのメンバーが集まったチームとなり、プレーにも出てしまい、控え目な場面が多々見られました。サッカーは自分を表現しなくてはならないスポーツなので、とくにアピールするプレーが大事です。技術ある選手たちなので自信を持ってチャレンジすれば、素晴らしい結果がでるのに・・・。
- 自分がゲームを作るんだという気持ちが低く、見方同士の譲り合いや、パスミスなどから失点する場面がみられ主導権をなかなか奪うことができず残念でした。
- コーチも試合中のミスを責めることはせず、戦術よりもそれぞれが自信をもってチャレンジすることや、仲間を信じること、仲間のために全力で戦うこと、チームワークの大事さなどを伝える場面が多かったです。
- Bチーム的なイメージを持っている選手たちなのか、試合中のリーダーシップがとれる選手がいなく「誰かがやってくれるだろう」といったプレーが見られ、「自分がみんなのために頑張るんだ」という気持ちが個々に出せると、技術はある子たちなので良いプレーに繋がり、その結果が自信になると思いました。
- しかし、試合の以外では、H.Tくんがキャプテンを任されていたこともあり、リーダーシップを発揮してくれて、自らでアップをして試合に挑んでいる姿は素晴らしかったです。
- 可能性を沢山もっている子たちなので、小野の大会では、小学生最後の自分自身でやりきったプレーを沢山見せて欲しいと思います。期待しています。

保護者の方々には、子供たちを一日中、観覧席から応援をしていただき有難うございました。子どもたちもやはり、親の姿を見ると頑張るものです。中学生になると身近に応援できる機会が少なくなります。そのため、卒団が近くなり、残り少ないアーレでの活動（大会）ですので、次回も保護者の応援を宜しくお願いいたします。

対象クラスでない五年生の選手や保護者の方々も会場に応援にかけつけていただきアーレファミリーの絆を感じ嬉しかったです。六年生たちの励みになったと思います。

最後に、エストレージャスさん、昨年の西部スポーツ広場の大会に続き、今回もお誘いいただき有難うございました。

選手たちにとって、貴重な経験の場となりました。また、お誘いをお願いいたします。

コーチ：設楽





